

第1回境港市みんなでまちづくり推進会議録

日時：平成29年5月9日(火) 18:30～20:30

場所：中央公民館

日程

1. 開会
2. 平成29年度境港市市民活動推進補助金の審査
3. 今年度の取組課題についての協議
4. 閉会

出席者（敬称略）

石橋文夫 植田建造 遠藤恵子 梶川恵美子 門脇紀文
佐古 廣 徳尾 勝 松本幸永 渡部敏樹

欠席者（敬称略）

門脇京子 土田良和 佐名木歩実

<開会>

（会長）

皆さん、こんばんは。お疲れのところ、お集まりいただき、ありがとうございます。

早速ではありますが、平成29年度第1回目のみんなでまちづくり推進会議を開催いたします。

まず、今回人事異動で地域振興課長と担当の方が変わられましたので、簡単にご挨拶させていただきます。

（地域振興課長）

皆さん、こんばんは。このたびの人事異動で地域振興課長となりました沼倉と申します。併せて、みんなでまちづくり推進会議及び市民活動補助金の担当は、木下と渡部になります。どうぞよろしくお願ひします。皆様には、いつも貴重なご意見や熱心な議論をいただき、感謝申し上げます。時間も限られておりますので、簡単ながらご挨拶とさせていただきます。

（会長）

ありがとうございました。本日は、ご案内させていただいたように、先に市民活動補助金審査をして、その後に、今年度の協議テーマについての検討をしたいと思ひます。

それでは、市民活動補助金審査について、事務局より説明をお願いします。

(事務局)

本年度、1回目の募集になります。新規設立事業に1団体、緑化事業に10団体の申請があり、緑化事業のうち、1団体は新規です。なお、一般事業の募集はありませんでした。

また審査員の皆様には、事前に書類審査をお願いいたしました。お忙しい中、ありがとうございました。事前審査による申請団体の評価点は、別紙のとおりとなりましたので、ご確認ください。審査表の審査基準を基に、申請書のみでの審査をしていただきましたので、この後行われるプレゼン後に得点修正があればそこで修正していただき、審議をしていただきます。

それでは、本日の審査会の進め方及び審査の視点について説明いたします。

まず初めに、ヒアリングをしていただく審査員を推進委員の中から3名選出し、地域振興課長と合わせて4名でヒアリング審査を行います。推進委員から選出するヒアリング審査員については、あらかじめ会長と相談して、決めさせていただきました委員の方をお願いしたいと思っておりますが、よろしいでしょうか。

※委員異議なし

続きまして、ヒアリング審査の仕方を説明いたします。本日はプレゼンを2つの団体に行ってもらいます。新規設立事業が1件、緑化事業の新規が1件となっております。1団体15分で、まず最初の3分間で申請団体から申請概要説明をしていただきます。その後、残りの12分間でヒアリング審査員の方に質疑をしていただきます。その間ですが、ヒアリング審査員以外の方には、傍聴をしていただきますようお願いいたします。

2団体のプレゼン終了後、19時10分から皆様で審議していただきます。そこで、事前にご記入いただいた審査表の得点とプレゼンを参考にしながら1件ずつ採択・不採択の決定を行っていただきます。各事業とも30点満点で、18点が合格基準点となっておりますので、特に18点に満たない事業につきましては、修正等を加えることで合格基準点を満たすように、条件付きの採択とするなどの審議していただきたいと思いますが、現段階では2団体とも基準点をクリアしております。

以上で説明は終わりますが、何かご質問等ございますでしょうか。

※委員質問なし

<申請団体によるプレゼンテーションの開始>

◇1団体目 さかいみなど中野港漁村市実行委員会事務局

- ・申請事業 沿岸の魚を美味しく食べる実演&試食
- ・事業内容 沿岸漁業で獲れる魚は、少量だが様々な魚種が水揚げされており、中野港漁村市にて、上田勝彦氏による神経締めの実演・試食を行うことで、魅力の普及に努める。

(委員)

新聞でよく見かけます。頑張っておられますね。ただ車で行ける人はいいですが、車がないと行きづらいと思います。

(委員)

足の確保が必要です。イベントによっては、ピストンでバスを出しているところもあります。

(さかいみなと中野港漁村市実行委員会事務局)

手配できたら良いのですが、予算がなくて対応できないのが現状です。市のはまる一歩バスでも出してもらえたらありがたいのですが。それと、イベントの案内で市の防災無線も使いたいのですが、イベントの案内では使えないそうです。だから、自治会単位でお願いしないといけない。

(委員)

自治会でやるのであれば、全体の自治連に頼みに行かないと。

(さかいみなと中野港漁村市実行委員会事務局)

そういう場があるのならば、行かせてもらいます。人脈がないので、誰が自治会長かも分かりません。少なくとも、中野・竹内は押さえていきたいです。

(委員)

公民館に聞けば分かります。公民館の仕事ではないですけど。

(さかいみなと中野港漁村市実行委員会事務局)

分かりました。

(委員)

収支状況に出店料は 500 円とありますが、こうなるとほとんどの経費は補助金で出すことになると思います。営利企業ではないにしても、何か利益が出るような仕組みを考えるべきではないでしょうか。

(さかいみなと中野港漁村市実行委員会事務局)

現状、はみ出た部分は手出ししていますので、考えていきたいです。

(委員)

出店した漁業者の収支状況はどうでしょうか。チェックしていますか。

(さかいみなと中野港漁村市実行委員会事務局)

聞き取りによると、あまり儲かっておらず、やめたがっている業者もいました。なので、今年話し合いを重ねて、漁業者の会長の要望も聞いて、知事と呼んだり、講師と呼んだり、改革を進めています。

(地域振興課長)

7月の漁村市が県補助、9月が市補助となっていますが、雨天になった場合は、どうされますか。代替案は考えておられますか。

(さかいみなと中野港漁村市実行委員会事務局)

雨天中止というマイナスのイメージは考えていませんでしたが、どこか会場を借りて少しコンパクトになってでも実施はしたいと思います。

(地域振興課長)

予定の中で、来場者平均800人ということでしたが、これまでの実績はどうでしたか。

(さかいみなと中野港漁村市実行委員会事務局)

5月が一番多くて、知事が来た際に2,000人、夏場に近づくと、減っていきます。9月にまた増えますので、平均800人です。

(地域振興課長)

800人というのは堅い数字であるということですね。

(さかいみなと中野港漁村市実行委員会事務局)

そうです。

◇2団体目 中浜小学校保護者と先生の会

・申請事業 中浜小学校校内緑化推進事業

・事業内容 校内の緑化を通して児童の学ぶ環境を向上することを目的に、保護者、児童、教職員が協力し合い主体的に学校の環境整備に取り組む意識を涵養するとともに、植物を育てることの楽しさや喜びを体験する機会を創出する。

(委員)

子どもたちと手を取って活動することは良いことだと思います。

(委員)

種類やデザインを工夫して、児童の作品発表の場とするというのが良いですね。

(中浜小学校保護者と先生の会)

まだアイデア段階ではありますが、ただ作業的にやるのではなく、園芸の得意な先生のアドバイスをもらいながら、作品発表の場としてもできればと思っています。

(委員)

境港市では緑化事業をしているところが多くあり、良いことだと思います。

(地域振興課長)

見積がすべて「一式」の値段になっていますが、これはまだ具体的に決まっていないということでしょうか。

(中浜小学校保護者と先生の会)

学校から前年度の植栽の実績を確認させていただき、苗や種にいくらかかったかというところを踏まえて、挙げているので根拠のない数字ではありません。

(地域振興課長)

実施体制がPTAの役員と子どもたちのボランティアということでしたが、この活動をすべての子どもに広めるためにどのようなことをされますか。

(中浜小学校保護者と先生の会)

PTAの広報誌はもちろん、学校のホームページにも掲載をお願いしようと思っています。そのほか、参加されていない児童にも、この花壇は保護者と児童で作ったというのが分かるようにプラカードのようなものを設置するなどしていきたいと思っています。

(委員)

PTAの役員が少ないように思いますが、これだけでできるのでしょうか。

(中浜小学校保護者と先生の会)

記載しているのは中心になって動く人数です。役員自体はもっと多くいますので、多くのメンバーに協力してもらおうと思っています。

(地域振興課長)

夏休みの期間の水やりが学校への負担になるとよく聞いていますので、そこは失敗をしないよう工夫してもらえると長続きすると思います。

<プレゼンテーション終了>

(会長)

それでは審議に入りたいと思います。みなさんプレゼンをお聞きになりまして感じたことなどがあれば発言していただけたらと思います。まずは「さかいみなと中野港漁村市実行委員会事務局」から意見ををお願いします。

(委員)

何回か行かせてもらって大変盛況だったと思います。ただ沿岸の魚というのはだんだん少なくなってきたので、難しい状況になってきています。それを普及する団体が力をつけていくというのは工夫が必要かと思います。ですので、調理する方とも協力してやろうとしているというのは素晴らしいと思います。こういった団体が力をつけていくと、一緒にやりたいという人も出てきて、Iターンを呼び込むこともできるわけです。ですので、沿岸漁業は大変な事業ですけど、ゆくゆくはそういった団体になれるよう応援をしていかないといけないと思います。

(委員)

市水産課が協力していますが、水産課で予算を組んだ方が良いと思います。チラシも1回だけの予算でしょう。(当日配布されたチラシ案を見ながら) これ1回だけですか。

(会長)

1回だけと書いてあります。ただ、講師を呼んで普及をするという内容が入っていません。

(地域振興課長)

水産課の予算については、そこで予算が組まれれば補助金を出すのはおかしくなってきました。現在は、あくまで協力という立場で、職員もボランティアに近い形での参加かと思っています。

(事務局)

チラシの内容については再度確認させていただきます。

※提出されたチラシ案は、漁村市開催案内のみの内容であった。補助対象事業の開催日が近づく頃に再度チラシを作成し、配布することを確認した。

(委員)

たとえば、夕日ヶ丘は地元の人もいるが、外から来た人が多くいるので、優先的に案内

するというのでしょうか。

(委員)

人は十分に来ています。問題はそれに対する水揚げ量です。人がたくさん来ても、売り切れているということでは評判を落としてしまいますので、あまり大風呂敷を広げないほうがいいと思います。

力を入れるなら、「食べ方」です。普段食べない魚を何とか食べようという調理の方法を講師も呼んで考えています。こういう活動をどんどんやってほしいです。

(委員)

昔は漁師の奥さん方が魚を加工して、かまぼこなんかを作る「魚食の会」というのがありました。今はそういう人もいないし、魚も少ないです。

(会長)

何とか発展させる方向を探っていかないといけませんね。それでは、話は尽きませんけども、点数に修正はありませんでしょうか。

<異論なく、採択>

(会長)

続いて、「中浜小学校保護者と先生の会」です。
見積については、先ほど説明があったとおり、いいかげんなものではないということです。収支決算書には他の団体と同じように、補助金の記載をするよう、事務局は言っておいてください。では、ご意見はありますでしょうか。

(委員)

各学校ともよく行きますが、きれいになりました。ただ、子どもたちにどのような影響があったかというところが見えてこないという課題はあります。子どもたちも勉強とは違うことをするので楽しい時間であるかもしれませんが、なぜそういうことをするのかというところを教えていかないといけません。

(委員)

協調性ということも養ってほしいですね。こういった活動は、美しいものを見たときには「美しい」と思えるという情操教育という意味でも良いです。

(地域振興課長)

今年はそういった趣旨の活動がありまして、これらのPTAの活動とは別に、外江小・

境小・上道小・誠道小の4校で、授業の取組の一つとして『人権の花運動』というものが実施されます。各校のPTAには、2つの活動が被って不都合がないように調整するようには伝えてありますが、今年はダブルで花がいっぱいになります。

(委員)

そういった学校の時間が取れるようなカリキュラムは良いですね。大抵は時間が取れないから、親がやって、子どもはちょっとだけ。

(委員)

初めはPTAや子どももやりますが、現状は学校の用務員がやっています。

(地域振興課長)

本当は子どもがすべきで、初めの働きかけをしっかりとやらなければなりません。

(会長)

今回の中浜小は「作品としてデザインさせる」というのが良いですね。花回廊みたいなものになると一層楽しいです。では、採択ということでよろしいですか。

<異論なく、採択>

(会長)

では、初めてということではいろいろと意見もありましたので、事務局は伝えておいてください。それでは、続いて、9件の継続の緑化事業のほう、いかがでしょうか。

(委員)

京和会の14世帯で補助金42,000円というのはすごい金額です。1世帯当たり3,000円ですよ。

(会長)

1世帯当たりで考えると確かにかなりの金額ですね。

(委員)

各家庭にプランターがたくさんあるんじゃないでしょうか。

(委員)

こないだも歩いていましたら、プランターにシールが貼ってあって、ちゃんと飾ってありました。とても良かったので、他の町内会にも広めてほしいですね。

(会長)

総合高校はプランターにペンキを塗っているんですね。こういう活動を他の団体にも伝えてほしいです。子どもに絵を描かせるだとか。

(委員)

余子小は植樹祭のプランターを長く使っています。毎年40、50と買うところもありますけど。

(委員)

花壇の写真展のようなことをしても良いかもしれませんね。それと、この補助金を使っているということを市民の方に分かるような形ができれば良いですが。

(会長)

市報で掲載していますかね。

(事務局)

市民活動団体紹介として掲載しております。

(地域振興課長)

市民活動推進補助金ですので、市民活動センターのお祭りなどで、壁新聞のような形で活動紹介をしてみてもと考えています。

(事務局)

市報7月号でも、募集と合わせて、28年度の紹介をする予定としております。

(委員)

他の団体がどのような活動をしているかなかなか分からないですから、あると良いと思います。

(会長)

紹介するならば、総合高校のペンキ塗りをしたプランターや中浜小学校のデザインをした花壇の写真があると良いですね。

(委員)

前年度の実績報告書のまとめたものを以前もらったことがあります、それがもらえると活動内容がよく分かります。

(事務局)

実績報告書については、次回、まとめを作成したいと思います。

(委員)

事業報告で「花いっぱい活動」が上がっていない学校がありますので、徹底させてください。

(会長)

マツ植樹隊は5年目になって、今後続けるのが…というのが書いてありました。

(委員)

素晴らしい活動ですが、あれだけ植えていくと、誰が管理するのでしょうか。それと、県からの補助金はどうなっているのでしょうか。私どもがやっている活動はほとんど返ってきます。

(地域振興課長)

収支決算書を見ると、寄付金等ということで、管理組合からの補助金が出ています。ただ、市の方は上限6万円がそれを除いた経費となっていますので、他のところまで関知していません。

(委員)

重機代が高すぎます。

(会長)

では、そのほかにないようですので、緑化事業も採択でよろしいでしょうか。

<異論なく、採択>

(会長)

そのほか、事務局から何かありますか。

(事務局)

ここで市民活動補助金審査の審査書類について、事務局よりご提案させていただきます。

これまでは、書類審査として、「事業計画書」、「収支予算書」、「見積書」、「役員名簿」、「規約(会則等)」のコピーをすべてお送りさせていただきました。個人情報の取り扱いという

点と委員さんの審査に必要な書類を再度検討しまして、「役員名簿」と2回目以降の申請団体の「規約（会則等）」については、事務局で確認することとし、委員の皆様への送付は省かせていただきたいと思いますがいかがでしょうか。

※委員異議なし

（委員）

前年度の決算書を付けてください。

（地域振興課長）

決算書でなく、実績報告ですね。実績報告書を次回から付けさせていただきます。

（事務局）

また、事前にお知らせいたしました、今回より、申請書等は回収させていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

※委員より申請書等を回収

（会長）

それでは、審査を終了します。このあと、5分間の休憩を挟んで、20時から再開します。

19：55～審査会終了

（会長）

それでは、今年度の協議テーマについて話しあいたいと思います。事務局は説明をお願いいたします。

（事務局）

お配りした資料にこれまで推進会議でやってきたテーマについて書いております。昨年度は、「若者の行政参加について」というテーマで、4月には島根大学の学生を交えてワールドカフェ方式で、11月にはフリートークで協議していただき、様々なご意見、ご提案をいただきました。その中で、みんなでまちづくり推進会議として、まとめあげたものを、市へ対して提言すべきとのご意見もいただきました。

そういった中で、境港市議会でも、若い世代の意見を聴くために、昨年10月末に市内高校生との懇談会を開催しております。

また、今年度は、市の新たな広聴事業として、若い世代の人と、子育てや教育・移住定住などについて意見交換を行う予定としております。担当が自治防災課になりますが、現在、それに向けて準備をしているところです。内容としては、20歳代、30歳代の若者

を委員として選び、委員への事前アンケートでテーマを決めて、民間でのグループ討議をしてもらい、市への意見や提言をまとめてもらい、市長との意見交換を実施、最終的には意見や提言を元に可能な限り、市の施策に反映させていこうというものです。

そこで、まちづくり推進会議としても、こうした広聴事業と連携して、引き続き「若者の行政参加について」というテーマで今年度も協議を重ねていただき、現委員さんの任期中に市への提言等の形でまとめあげていただくということによろしいでしょうか。

(地域振興課長)

よそがやるなら他のテーマに、という考え方もあるとは思いますが、これまで皆さまで協議していただいたところに、他のスパイスも取り入れながら、最終的なご提言をもらうというのが一番良い形ではないかと思っております。その辺り、皆さまのご意見をお聞きしたいと思います。

(委員)

どこの自治体もそうですが、なかなか若い人の意見が聞けません。高齢者は若い人と話すようにしていかないといけませんし、若い人も高齢者と話すようにしないといけません。そういう意味で、良いきっかけになると思います。

(委員)

市議会が15名の高校生と意見交換会をしたとのことですが、「やった」ということしか伝わってなくて、この15名以外の生徒にどのように伝わったのかが分かりません。輪を広げることが大事だと思います。せっかくやるのであれば、全高校生に伝わるように有効にしていってほしいと思います。

(地域振興課長)

「開かれた議会」ということで、高校生だけでなく、年度ごとに様々な団体と意見交換会をしているようです。

(委員)

今までこういった活動がないので、良い活動だとは思いますが、これをどう繋げていくかということを考えてもらいたいですね。

(会長)

市民と議会との懇談会があるので、直接言ってみてはどうでしょうか。議員は私たちの代表なので、私たちが言っていないといけません。

(委員)

私たちも何か働きかけをしないといけません。ここで審査ばかりやっても「街づくり」にはなりません。私たちには大きな役目があって、若い人たちの意見を拾って「街づくり」に組み込んでいく。それには大きな意味があると思います。

(会長)

できれば、真ん中の40代、50代あたりも協力してほしいところです。具体的にはどんなことをやっていきましょうか。

(委員)

何かやらないと突破口が見えてこないです。議会がやったようなことでも突破口になると思います。地域おこし協力隊なんかと話すとかんとした意見が出てきますし、一般の若い人たちでも、色んな意見を持っていると思います。我々がそういった意見をどうやって引き出すか。すごく良い意見があるはずなんです。それを引き出すのが「街づくり」に繋がってくると思います。我々には経験しかありません。若い人からの意見を元に、経験を合わせながらやっていくことがこれからは必要です。

(会長)

若者がものを言える場を作る…。ただ、私らが「どうぞ話してください」と言っても、若者は話せないでしょうね。

(委員)

そこは回数を重ねながら、お互いの理解を深めていくのでしょうかね。

(地域振興課長)

それでは、テーマは「若者の行政参加」としたいと思います。どれだけ若い人の意見を吸い上げていく社会にしていくのか、という方向性で毎熊アドバイザーにご指導いただくという形でよろしいでしょうか。

(委員)

毎熊アドバイザーは学生を連れて色んなところに行っておられます。

(地域振興課長)

若者といっても、実際、社会・地域で主に活動しているのは40代・50代ですので、学生だけでなく、OB・OGを連れてきてもらっても良いかもしれません。

(会長)

OB・OG良いですね。学生だった彼らがどのように社会に関わっているのか、気にな

ります。ではまた、事務局のほうで、毎熊アドバイザーと相談をしていただきたいと思います。

それでは、本日の会議はこれで終了します。長時間にわたり、ご審議及びご協議いただき、ありがとうございました。

<閉会>